



中小事業場分科会

会場 京都経済センター（2F 京都産業会館ホール）〔京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78〕

交通 京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札口より徒歩2分

阪急京都線「烏丸駅」西改札口より徒歩2分（地下鉄及び阪急／地下道26番出口）

10月24日（木） プログラム（9:00開場）

9:30

1 労働災害「ゼロ」に向けての取り組み

(株)太洋
品質保証部

天坂 努

弊社は2012年度に品質保証部を設置し労働災害「ゼロ」活動に注力して展開してきた。KYK、職場危険マップの整備、パトロールは継続的に取り組み、毎年「安全大会」を開催し、各部門の安全衛生活動の紹介や外部講師の講演を行っている。今後も労働災害撲滅の為終わりなき運動を展開する。

9:50

2 「安全と健康はすべてに優先する」 ～事故・災害から乗務員を守れ～

サンエツ運輸(株) 新湊営業所
安全品質推進部 副部長

布目 雅裕

グループの基本理念に基づき、当社が独自に行ってきた安全活動を紹介する。豪雪地帯に立地するが故の降雪時の安全活動は非常に重要であり、それは運行のみならず、作業においても同様である。作業の安全確保に向け、当社が考案した自信作、「トラックがらの雪下ろし設備」も紹介する。

10:10

3 100人規模の工場現場における一人ひとりに目の届いた衛生管理「立ち話面談」とは？

ダイソーケミックス(株) 技術開発センター
開発管理グループ 看護師

安養寺 美貴

当事業所の規模では、産業看護師は個人に目の届いた衛生管理を行っている。その環境を活かし、春秋の健康診断後に行う全員面談とストレスチェックの結果を基に、「立ち話面談」を実施している。その結果、もっと一人ひとりに合わせた対応や委員会を利用した活動が可能になった。

(10:30～10:40 休憩) 10:40

4 労働者の危険感受性向上をはかる新体感・体験型教育訓練の導入について

金下建設(株)
土木工事事務 工事長

萩原 淳

労働災害の減少と経験豊富な熟練労働者から新規労働者への世代交代に伴い、労働者の危険感受性の低下が顕著である。従来の座学を中心とした安全教育から、実際に危険を体感・体験し危険感受性の向上を図る教育訓練への転換について、官民一体となった取り組みを実施した。

11:00

5 体感実践型の安全教育と防災訓練によるゼロ災害への取り組み

(株)エクセディ 鋳造
代表取締役社長

今城 潤

安全・品質・ドンピシャ（納期）・コストの優先順位を会社方針として、「出社した姿で帰宅しよう！」を合言葉に、ゼロ災に向けて活動している。鋳造会社の常識を超えた従業員を守るための安全対策や、体感型安全教育の仕組みづくりを行い、ゼロ災活動に取り組んだ内容を紹介する。

11:20

6 5Sの「躰」から始めるゼロ災職場づくり

ナガセケムテックス(株) 福知山事業所
生化学品事業部 生産部 部長

田中 悟広

当事業所では「きれいな職場に事故ミスは無し」を安全衛生スローガンとして、5Sの躰、特に「あたりまえの事をあたりまえに」を強く育ませ、明るく快適な職場を自分たち自らつくる文化を根付かせています。そこから「ゼロ災」継続と「労災不休5000日」を達成するべく取り組んでいます。

11:40

中小事業場分科会 会場にて
「職場の安全と健康 無料相談会」開催！